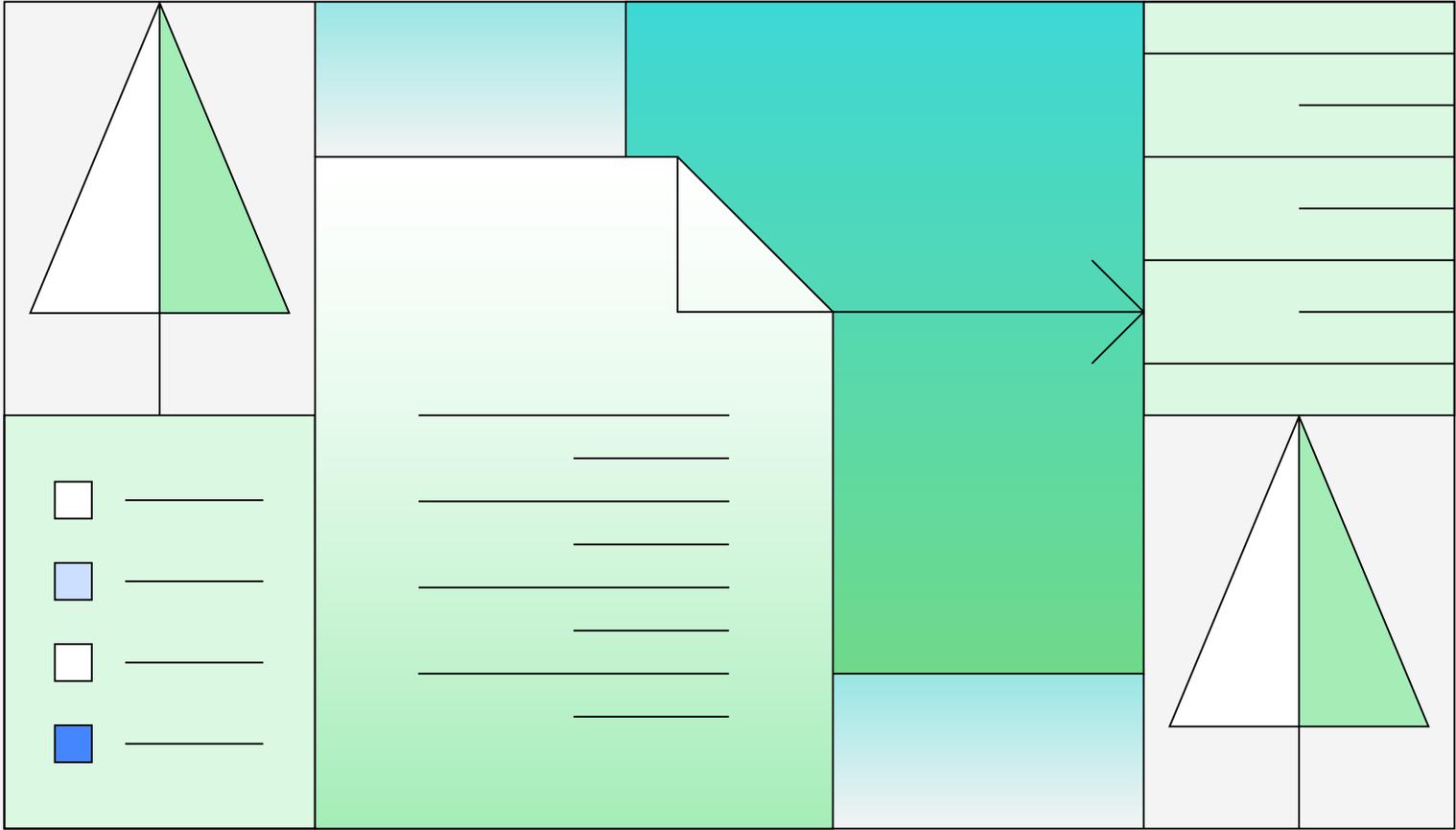


ESGレポートのフレームワークにおけるメトリック・カバレッジ



ESG フレームワーク メトリック

ここでは、簡素化のため、フレームワークという言葉に、報告基準、ツール、ガイダンス、自発的や法的な報告義務という意味を含めます。

免責事項:以下のさまざまなESGフレームワークの分析と分類は、IBMの経験に基づくもので、公式のESGガイダンスを構成するものではありません。



Level of coverage: Complete Some None



*Environmental includes all elements that are not carbon, energy, waste or water. Examples include a focus on biodiversity, air quality, desertification and more.

ESGレポーティング・フレームワーク

詳細なメトリック・カバレッジ*

カバレッジのレベル:

■ 完全、 ■ 一部、 ■ なし

	環境	社会	ガバナンス	炭素	エネルギー	廃棄物	水
<p>CDP フレームワーク:カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト報告書は、気候変動、森林、水の安全保障に焦点を当てています。企業は、自社のサステナビリティの進捗状況に基づき毎年、A~Dで評価されます。A評価される企業は、その年の上位パーフォーマーであることを示します。</p>	<p>■ FW-FS(CDPフォレスト)における森林関連リスク評価。森林フレームワークは、パーム油、木材、牛、大豆、ゴム、ココア、コーヒーという7つの主要コモディティに特に焦点を当てています。</p>	<p>■ 完全</p>	<p>■ C2の気候変動リスク評価で考慮されるリスクの種類。</p>	<p>■ CDPは気候変動に焦点を当てています。C6は、スコープ1、2、3の排出量に焦点を当てています。</p>	<p>■ C8の総営業費用に占めるエネルギー費用の割合。</p>	<p>■ スコープ3: 操業に伴い発生する廃棄物</p>	<p>■ CDPの水質問題には、水会計指標、バリューチェーン・エンゲージメント活動、ガバナンス、事業戦略、影響が含まれています。</p>
<p>ENERGY STAR この認証は、不動産のエネルギー効率を評価することを目的としています。米国EPAによって運営されています。</p>	<p>■ なし</p>	<p>■ なし</p>	<p>■ なし</p>	<p>■ 炭素排出量はエネルギー使用量から計算されます。</p>	<p>■ ENERGY STARはエネルギー効率を促進します。</p>	<p>■ ENERGY STARのポートフォリオ・マネージャーは、廃棄物の追跡を支援します。</p>	<p>■ ENERGY STARのポートフォリオ・マネージャーは、水の追跡を支援します。</p>
<p>GRESB フレームワーク:GRESBにより、投資家向けの不動産ポートフォリオの評価が可能になります。GRESB2023不動産リファレンスガイド。 2015年、GRESBは対象範囲を拡大して道路、鉄道、配電、通信システムも含め、その後、GRESBを正式名称として使用し始め、その頭文字の元であった「グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク」を使用しなくなりました。</p>	<p>■ リスク評価(気候を含む)、ポリシー、デュー・デリジェンス手順には、生物多様性や汚染などの問題を含めることができますが、それ以上は調査されません。</p>	<p>■ 調査には、ステークホルダーの関与が含まれません。GRESBは、企業、資産運用会社、投資家間の対話を促しています。また、雇用主が従業員とDEIのパフォーマンスをどの程度適切に扱い、訓練しているかに関する調査も行います。</p>	<p>■ テナント・エンゲージメントなどの問題は対象に含まれていますが、評価の最優先事項ではありません。GRESBは、リーダーシップと戦略、ポリシー、リスク管理、ステークホルダーの関与も対象としています。</p>	<p>■ パフォーマンス:GHG</p>	<p>■ パフォーマンス:エネルギー</p>	<p>■ パフォーマンス:廃棄物</p>	<p>■ パフォーマンス:水</p>
<p>GRI フレームワーク:グローバル・レポーティング・イニシアティブには、GRI 100およびGRI 200に10の開示必須項目があります。また、報告を行う事業体の重要性に応じて、29の開示任意項目もあります。GRIには、エネルギーから農業、鉱業、公益事業、建設、自動車、電子機器、不動産などに至る、セクターごとの固有の基準も設けられています。</p>	<p>■ GRI 300は環境を、GRI 302と305はそれぞれエネルギーと炭素を対象としています。また、GRI 307は環境コンプライアンスを対象としています。</p>	<p>■ GRI 400で社会問題が開示対象とされています。具体的には以下の項目が開示対象となっています: - GRI 401: 雇用 - GRI 403: 健康および安全 - GRI 408: 児童労働 - GRI 409: 強制労働 - GRI 413: 地域社会 - GRI 414: サプライヤー評価</p>	<p>■ - GRI 103: 管理アプローチ GRI 200で開示対象とされているのは、市場、およびESGとその他の問題に対するアプローチです。 GRI 400では、ガバナンスにおける一部の問題も開示対象となっています。</p>	<p>■ GRI 305は排出量を対象としています。</p>	<p>■ GRI 302はエネルギー使用を対象としています。</p>	<p>■ GRI 306は排水と廃棄物を対象としています。</p>	<p>■ GRI 303は水と排水を対象としています。</p>

	環境	社会	ガバナンス	炭素	エネルギー	廃棄物	水
IIRC 国際統合報告評議会(IIRC)は、企業が報告の価値を再認識させることを目的としています。IIRCは、最初にSASBとともにバリューレポーティング財団に統合され、2023年に完全に施行されると、IFRSのISSBになります。	■ 自然資本の考慮。	■ 社会資本と関係資本の考慮。	■ セクションB:ガバナンス	■ 4Fパフォーマンス:KPI(炭素を含む可能性あり)。	■ 3B接続性を検討する際のエネルギー効率の考慮。	■ 製造資本プロセスの考慮。	■ 自然資本の考慮。
NABERS 国立オーストラリア環境評価システムは、オーストラリアの不動産の環境パフォーマンスを評価することを目的としています。NABERSはオフィスとデータセンターに焦点を当てています。	■ なし	■ なし	■ なし	■ 炭素排出量はエネルギー使用量から計算されます。 オフィス:認定評価者は、建物の大きさ、占有時間、気候地帯、職業密度に関するデータとともに、電気料金やガス料金など、建物における消費データを収集します。収集されたデータは評価計算機により標準化され、1~6つ星で採点されます。 データセンター:特定規模のデータセンターの業界中央値のGHG排出量を予測し、これを3つ星として、その中央値より多いまたは少ない排出量の数に基づいて星を割り当てます。	■ NABERSエネルギーは、オフィス・ビルの効率性を測定します。	■ NABERS廃棄物ツールは、建物が廃棄物の発生、リサイクル、資源回収をどの程度適切に管理しているかを測定します。	■ NABERS水評価は、建物内での水の使用量およびリサイクル量を調べます。
NGER 国家温室効果ガス・エネルギー報告は、エネルギーおよび炭素データの報告および普及のためのオーストラリアの規制基準です。	■ なし	■ なし	■ なし	■ スcope1排出量	■ エネルギー・コモディティの生産と消費に起因するエネルギーに関するレポート。	■ 廃棄物管理施設を運営している場合にのみ必須	■ なし

	環境	社会	ガバナンス	炭素	エネルギー	廃棄物	水
<p>SASB フレームワーク: サステナビリティ会計基準審議会(SASB)は、77の異なるセクターに対して個別の報告要件を設けています。マテリアリティ・マップは、優れたサマリー・リソースです。</p> <p>SASBは今後数年間活動を続けますが、その後、国際会計基準(IFRS)財団の国際サステナビリティ基準審議会と、国際統合報告評議会(IIRC)/バリューレポーティング財団(VRF)に統合されます。</p>	<p>■ 120a.1 10ミクロン以下の粒子状物質(PM10)、酸化マンガン(MnO)、多環芳香族炭化水素(PAHs)などの汚染物質の大気排出。</p>	<p>■ 220a.5 製品またはサービスが監視、検閲、コンテンツフィルタリング、またはブロックの対象として政府に義務付けられている場合、開示が推奨されます。</p>	<p>■ 510a.2 事業体は、内部告発者に関するポリシーを説明する必要があります。</p>	<p>■ 410b.1 エネルギー効率と低炭素技術に関連する保険会社の正味保険料</p> <p>■ 110a.1 グローバル・スコープ1排出量</p>	<p>■ 130a.4 適格不動産ポートフォリオのうち、エネルギー格付けを持つものの割合</p> <p>■ 130a.1 総エネルギー消費量</p>	<p>■ 150a.1 有害廃棄物発生量</p>	<p>■ 130a.1 取水および消費された水の総量と、ベースライン水ストレスが高い地域と非常に高い地域におけるそれぞれの割合</p>
<p>CSA ダウ・ジョーンズがサステナビリティ・インデックス(DJSI)を分析する際に使用するSAMコーポレート・サステナビリティ評価は、企業がDJSIに関するパフォーマンスを報告するために記入する評価です。以下の指標は、「CSA Companion 2021」から抽出されています。</p> <p>回答者の属するセクターにより、すべての質問がCSAに記載されるとは限りません。</p>	<p>■ 物理的な気候リスクの適応が考慮されます。</p>	<p>■ 人権デューデリジェンス・プロセスの存在が考慮されます。</p>	<p>■ 取締役会の平均在任期間が考慮されます</p>	<p>■ スコープ1排出量およびスコープ2排出量が考慮されます。</p>	<p>■ 再生不可能な燃料、購入電力など、種類別に分類されたエネルギー消費量が考慮されます。</p>	<p>■ 廃棄物処理(発生、使用、リサイクル済み、売却済みなど)が考慮されます。</p>	<p>■ 水の消費量(取水量と排水量の両方)が種類別に考慮されます。</p>
<p>SBTi 科学的根拠に基づく目標イニシアチブは、企業が科学的根拠に基づく排出削減目標とパリ協定に沿った目標を設定するのを支援するためのものです。これは、4,000社以上の企業で採用されていますが、現時点では、自治体、政府機関、大学の目標は評価していません。SBTiには、セクターごとのテンプレートと目標もあります。</p>	<p>■ SBTiは、スコープ1~3の移行計画など、ベストプラクティスを明確にしています。</p>	<p>■ なし</p>	<p>■ SBTiは、採用された短期的および長期的マイルストーンに関連する役員報酬など、有効なガバナンスを求めています。</p>	<p>■ SBTiはパリ協定に沿った目標設定に焦点を当てていますが、このイニシアチブは現在、完全なネットゼロに向けた目標設定も対象にしています。</p>	<p>■ スコープ2排出量のネットゼロには、エネルギー使用量への焦点が含まれます。</p>	<p>■ 一部</p>	<p>■ 一部</p>
<p>SECR 英国政府の合理化されたエネルギーおよび炭素報告規制は、特定の企業にエネルギー使用量と炭素排出量を追跡することを義務付けています。</p>	<p>■ なし</p>	<p>■ なし</p>	<p>■ なし</p>	<p>■ 会社が所有または管理するアクティビティに起因する排出量。これには、燃料燃焼と施設運用(スコープ1)/ tCO2eが含まれます。</p>	<p>■ 排出量の計算に使用されるエネルギー消費量</p>	<p>■ なし</p>	<p>■ なし</p>
<p>SFDR フレームワーク: サステナブル・ファイナンス開示規則は、金融機関が投資ポートフォリオのESG情報を評価することを義務付けるEUの要件です。そのため、指標は、報告機関ではなく、投資先により回答されます。</p> <p>ここで詳述されるいくつかの指標は必須ですが、金融機関が指標の中から選択すべき指標もあります。</p>	<p>■ 事業体が生物多様性や生態系の変化への間接的および直接的な影響となる要素を評価、監視、または制御しているかどうかについての報告は必須です。</p>	<p>■ 問題性のある武器の製造の開示は必須です。</p>	<p>■ 未調整の男女賃金格差に関する報告は必須です。</p>	<p>■ スコープ別の炭素排出量の報告は必須です。</p>	<p>■ エネルギー消費量(再生可能エネルギーおよび再生不可能な燃料に分類)の報告は必須です。</p>	<p>■ 有害廃棄物(単位:トン)の報告は必須です。</p>	<p>■ (特定の科学汚染物質を含む)水排出量の報告は必須です。</p>

	環境	社会	ガバナンス	炭素	エネルギー	廃棄物	水
TCFD フレームワーク: 気候関連財務情報開示タスクフォースはリスクフレームワークで、メトリックの使用を奨励していますが、必須とされているものはほとんどありません。推奨されているが必須ではない事項は、フレームワーク資料で強調表示されています。TCFDは現在、英国、シンガポール、カナダ、日本、南アフリカを含むいくつかの国で義務付けられており、オーストラリアとニュージーランドがそれに続いています。また、国連PRI加盟国にも義務付けられています。	■ 理論的には、炭素、エネルギー、廃棄物、水以外の環境指標は、気候変動リスク評価に使用できます。ただし、特に推奨されていません。	■ TCFDに基づく一部の報告は、さまざまなシナリオに基づくレジリエンスに言及しています。	■ 第1の柱は、取締役会によるリスクや機会の監督、リスク評価における経営陣の役割を含むガバナンスに焦点を当てています。	■ スコープ1排出量およびスコープ2排出量(該当する場合はスコープ3排出量)の開示が推奨されています。	■ エネルギー使用に関するメトリックに基づくリスクと機会の分析が推奨されています。	■ 廃棄物に関するメトリックに基づくリスクと機会の分析が推奨されています。	■ 水使用に関するメトリックに基づくリスクと機会の分析が推奨されています。
UN SDGs 国連の持続可能な開発目標(SDG)は、2030年までにより良い、より持続可能な未来を達成するための青写真となることを目指しています。	■ 目標15: 陸域生態系	■ 目標1、2、3、4、5、10	■ - 目標9: 産業、イノベーション、インフラストラクチャー - 目標8: 働きがいのある人間らしい雇用および経済成長	■ 目標7: 安価かつクリーンなエネルギー	■ 目標7: 安価かつクリーンなエネルギー	■ 目標12: 責任ある消費	■ - 目標6: クリーンな水および衛生 - 目標14: 海洋・海洋資源
CSR 企業サステナビリティ報告指令は、ビジネス戦略が環境および社会問題に関連するリスクをどのように軽減しているかを詳細に説明し、一般に開示することを企業に義務付けています。CSRの対象となる組織は、欧州サステナビリティ報告基準(ESRS)に従い報告する必要があります。	■ E1気候変動、E2汚染、E3水および海洋資源、E4生物多様性および生態系、E5資源利用と循環経済。 これには、スコープ1排出量とスコープ2排出量(スコープ3排出量は将来追加予定)、気候リスク、影響が含まれます。	■ S1自身の労働力、S2バリューチェーンにおける労働者、S3影響を受けるコミュニティ、S4消費者およびエンドユーザー。 これには、人権、従業員の多様性、労働条件、EHSコンプライアンスが含まれます。	■ G1リスク管理および内部統制、G2企業行動。 これには、取締役会の多様性、倫理および腐敗のレベル、ステークホルダーの関与が含まれます。	■ ESRS E1気候変動、E2汚染、E4生物多様性および生態系。	■ E2汚染、E5資源利用および循環経済。	■ E5資源利用および循環経済。	■ E3水および海洋資源。
BRSR フレームワーク: 責任ある企業行動に関するインドの国家ガイドライン(NGRBC)の9つの原則に照らして、業務および従業員に関する情報の開示、ガバナンスの開示、パフォーマンスの開示などの一般的な開示を義務付けています。	■ セクションC、第6原則は環境を保護し、復元するための取り組みの開示を義務付けています。	■ セクションAは、顧客および従業員の多様性、安全性、定着率、苦情処理手続、ステークホルダーの関与の開示を義務付けています。	■ セクションBは、NGRBC原則を採用するためのガバナンス、リーダーシップおよび監督、ポリシーの開示を義務付けています。	■ セクションC、第6原則は、スコープ1、2、3排出量に焦点を当てています。	■ セクションC、第6原則は、エネルギー消費量およびエネルギー強度に焦点を当てています。	■ セクションC、第2原則は廃棄物管理および製品のライフサイクル・アセスメント(LCA)の開示を義務付けています。	■ セクションC、第6原則は取水量、水消費量、排水量の開示を義務付けています。

*ここに表示される例は、各フレームワークに対するESGの主題のカバレッジに関するものです。これは網羅的なリストではなく、カバレッジの例に過ぎません。

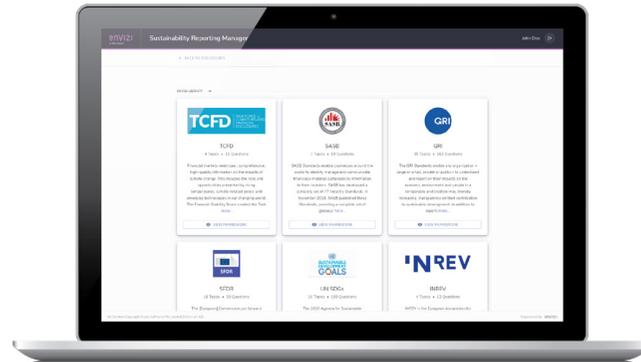
すべての主要フレームワークに対応するESGレポート作成を簡素化

スプレッドのESGデータを堅固でスケーラブルなソフトウェア・プラットフォームにアップグレードし、IBM® Envizi™ ESG Suiteを使用してレポート作成要件を満たすことができます。

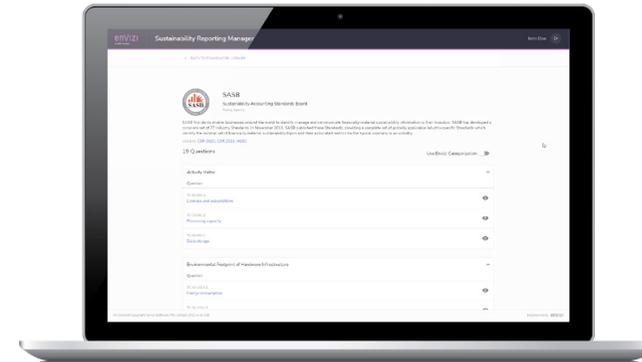
- 国際的に認識されているすべてのフレームワークに対する回答を一元管理
- 1,000問以上のフレームワークに関する質問を収集
- カスタム質問を作成
- レポートをエクスポート
- 他のフレームワークに対する回答をコピー

ESGレポート・フレームワーク用ソフトウェアはこちら→

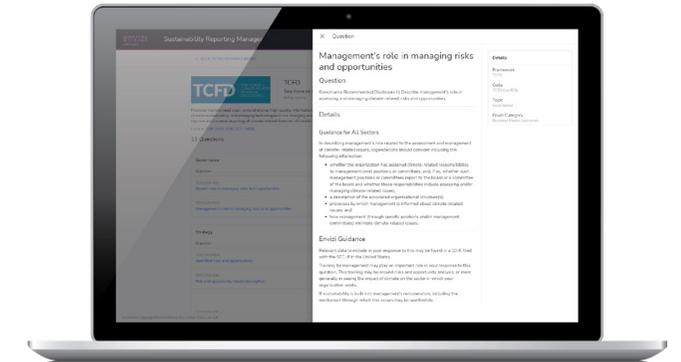
IBM Enviziの14日間無料試用→



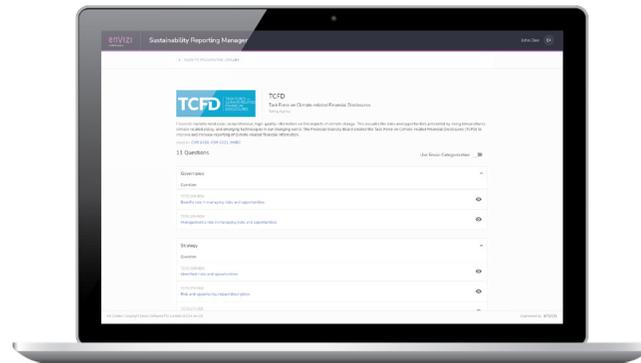
主要ESGフレームワークを収めたフレームワーク・ライブラリー



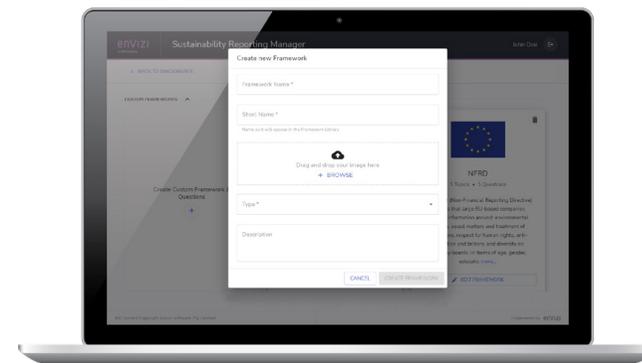
単一プラットフォームからフレームワークの質問にアクセス



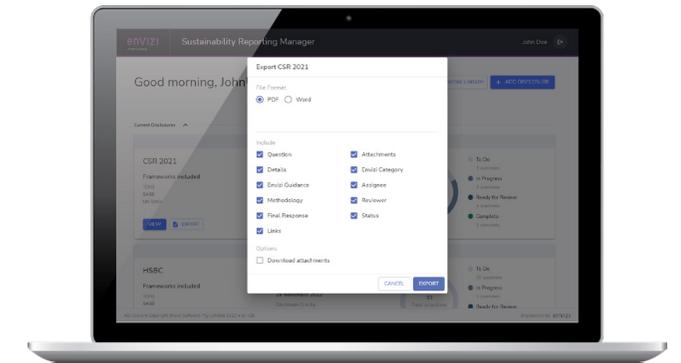
フレームワークへの回答に関するガイダンス



さまざまなフレームワークからの質問を1,000問以上収集



カスタム・フレームワークを作成



レポート全体または特定の回答をエクスポート



© Copyright IBM Corporation 2023

日本アイ・ピー・エム株式会社
日本アイ・ピー・エム株式会社 〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19-21

Produced in the United States of America
2023年7月

IBM、IBMのロゴ、Enviziは、米国およびその他の国々におけるIBMの商標です。その他の製品およびサービス名は、IBMまたはその他の会社の商標である場合があります。IBM商標の最新リストは、ibm.com/jp-ja/trademarkでご確認いただけます。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開しているすべての国で、すべての製品が利用できるわけではありません。

本書の情報は「現状のまま」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとし、IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は、自己の責任で関連法規および規則を順守しなければならないものとし、IBMは法律上の助言を提供することなく、また、IBMのサービスまたは製品が、いかなる法規もしくは規則をお客様が順守していることの裏付けを、表明ならびに保証するものでもありません。

